

中央教育審議会 初等中等教育分科会  
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた  
学校教育の在り方に関する特別部会における審議について

1. 設置目的

- 『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月中央教育審議会答申）を受けて、デジタル化などの社会変化が進む次世代の学校教育の在り方について検討する必要がある。
- 児童生徒への学習指導・生徒指導の在り方や環境整備について、特にGIGAスクール構想に基づくICT環境の整備と活用を進める中で、教科書・教材のデジタル化を推進するとともに、既存の教科書・教材との関係を整理し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実することが求められている。
- このため、多様かつ専門的な見地から横断的に議論し、検討内容を必要な施策に結び付けていくため、初等中等教育分科会に本会議を設置する。

2. 主な検討事項

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実するための、

- (1) 一人一台端末等を円滑に活用した児童生徒への学習指導・生徒指導等の在り方について
- (2) 教科書、教材、関連ソフトウェアの在り方について
- (3) 学校内外の環境整備の在り方について
- (4) その他

3. 審議経過

○第11期中央教育審議会

- 令和4年 1月 特別部会 設置
- 令和4年 2月 教科書・教材・ソフトウェアの在り方ワーキンググループ 設置
- 令和4年10月 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた教科書・教材・ソフトウェアの在り方について（中間報告）取りまとめ  
義務教育の在り方ワーキンググループ及び高等学校教育の在り方ワーキンググループ 設置
- 令和5年 2月 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた教科書・教材・ソフトウェアの在り方について（審議経過報告）取りまとめ

○第12期中央教育審議会

- 令和5年 4月 特別部会 設置  
義務教育の在り方ワーキンググループ及び高等学校教育の在り方ワーキンググループ 設置
- 令和5年 8月 高等学校教育の在り方ワーキンググループ 中間まとめ 取りまとめ
- 令和5年12月 義務教育の在り方ワーキンググループ 中間まとめ 取りまとめ
- 令和6年12月 義務教育の在り方ワーキンググループ 審議まとめ 取りまとめ
- 令和7年 2月 高等学校教育の在り方ワーキンググループ 審議まとめ 取りまとめ